

暮らしの瓦版

2012年4月号

2012年住宅取得支援策(2)

復興支援・住宅エコポイント

住宅エコポイント制度については、地球温暖化対策の推進及び経済の活性化を図ることを目的として、エコ住宅の新築やリフォームに対してポイントを発行し、商品との交換や追加工事の費用への充当などが行える制度として平成23年7月末日までに工事着手したものを対象として実施されましたが、この度の平成23年度第3次補正予算成立を受け、地球温暖化対策の推進、住宅市場の活性化のほか、東日本大震災の被災地復興支援を目的とした「復興支援・住宅エコポイント制度」が新たに開始されました。復興支援・住宅エコポイント制度は、一定の要件を満たすエコ住宅の新築またはエコリフォームに対しポイントを発行し、そのポイントを被災地の商品やエコ商品等と交換できる制度です。

テーマはエコ&復興

今回の大きな目的は3つ。住宅の省エネ化、住宅市場の活性化、被災地復興支援。特に、被災地復興支援が大きな特徴です。

ポイント発行対象及びポイント数

【エコ住宅の新築】被災地「30万ポイント」、被災地以外「15万ポイント」(但し、太陽熱利用システム設置の場合は2万ポイント加算)【エコリフォーム】窓の改修、外壁、天井、屋根又は床の改修(以下エコ改修)「2千」10万ポイント(上限30万ポイント)・エコ改修に合わせて実施するバリアフリー工事(上限5万ポイント)・エコ改修に合わせて実施する省エネ住宅設備の設置「2万ポイント」・エコ改修に合わせて実施する耐震改修工事「15万ポイント」(上限45万ポイント)・エコ改修に合わせて「リフォーム瑕疵保険」に加入の場合「1万ポイント」。被災地での新築や、耐震改修、リフォーム瑕疵保険に対し、ポイント配分が厚くなっているのが今回の特徴です。

対象工事期間

新築は昨年10/21～本年10/31、リフォームは昨年11/21～本年10/31

ポイント交換対象には被災地の商品も

発行されたポイントで交換できる商品に「被災地の産品・製品」「被災地の商品券」などが設定されます。他にも「省エネ・環境配慮商品」「環境寄付」「被災地への義援金・寄付」「追加工事への即時交換」もあります。

季節の風物詩「清明」



季節の言葉

生活 メモ 「介護保険制度改正」

平成12年から始まった介護保険制度ですが、高齢化によるサービスの需要と費用の増大、医療との連携等、様々な課題がでてきています。それらの諸課題を改善するため「介護サービスの基盤強化のための介護保険法等の一部を改正する法律案」が平成23年6月に公布され、4月1日に施行(一部交付時に施行されます)。

今回の介護保険法改正のポイント、高齢者が地域で自立した生活を営めるよう、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスが切れ目なく提供される「地域包括ケアシステム」の実現に向けた取組を進める。というところにあります。安心して高齢者が地域で自立して暮らせるよう30分以内で駆けつけられる日常生活圏の中で、介護保険の在宅支援サービスが切れ目なく提供できるようにするということが、介護保険制度が破綻しないように、施設から在宅への基本路線を更に進めること、縮小・廃止が検討されている療養病床の受け皿の整備、認知症対策に重点を置いた改定になっています。

医療と介護の連携の強化等

生活支援サービスが連携した要介護者等への包括的な支援(地域包括ケア)を推進。日常生活圏域ごとに地域ニーズや課題の把握を踏まえた介護保険事業計画を策定。単身・重度の要介護者等に対応できるよう、24時間対応の定期巡回・随時対応型サービスや複合型サービスを創設。保険者の判断による予防給付と生活支援サービスの総合的な実施を可能とする。介護療養病床の廃止期限(平成24年3月末)を猶予。

介護人材の確保とサービスの質の向上

介護福祉士や一定の教育を受けた介護職員等によるたんの吸引等の実施を可能とする。介護福祉士の資格取得方法の見直し(平成24年4月実施予定)を延期。介護事業所における労働法規の遵守を徹底、事業所指定の欠格要件及び取消要件に労働基準法等違反者を追加。公表前の調査実施の義務付け廃止など介護サービス情報公表制度の見直しを実施。

高齢者の住まひの整備等

高齢者の住まひの整備等、有料老人ホーム等における前払金の返還に関する利用者保護規定を追加・厚生労働省と国土交通省の連携によるサービス付高齢者向け住宅供給の促進(高齢者住まい法改正)

認知症対策の推進

市民後見人の育成及び活用など、市町村における高齢者の権利擁護を推進。

保険者による主体的な取組の推進

介護保険事業計画と医療サービス、住まひに関する計画との調和を確保。地域密着型サービスについて、公募・選考による指定を可能とする。

保険料の上昇の緩和、各都道府県の財政安定化基金を取り崩し、介護保険料の軽減等に活用。

生活 メモ 「桜・桜の名所」

桜とは、日本を代表し象徴する樹木で、百円硬貨の裏には桜がデザインされています。古事記に登場する「木花咲耶姫」の「木花」がサクラを表すといわれ「サクラ」の読みが変化して「サクラ」になったといわれますが、語源については他にもたくさん説があります。

古来から桜の花は人々に愛され、春に桜の木の下で宴を催す風習(花見)は現代でも盛んです。花見はかつて、秀吉が吉野の花見や醍醐の花見を催したように、上流階級に限られた風習でしたが、庶民に花見の習慣が広まったのは、江戸時代・第8代将軍吉宗の頃。吉宗は庶民が桜を楽しむようにと考え、隅田川・上野公園・飛鳥山・小金井堤・御殿山など江戸市内・市外の各地に度々桜の木を植えました。明治時代の初めには、桜の木はそれまでの封建時代の象徴であると考え、各地で伐採されましたが、軍国主義の高まる時代になると、桜の花は軍人とその精神の象徴として、各地の兵舎や小学校に多く植えられました。

最も一般的なサクラはソメイヨシノで、ほぼ日本中に分布しています。「ソメイ」は染井(現在の豊島区染井)という地名から来たもので、そこにあった植木屋が発祥の地とされています。オシマザクラの葉は桜餅の葉として用いられています。他、様々なサクラの種類があります。

桜の名所として日本全国に桜の中でも、特に優美な姿をみせてくれるのが日本三大桜。他、五大桜、三大夜桜、三大名所等、いずれも桜の名所があります。

日本三大桜・五大桜・三春滝桜(福島) 山神代桜(山梨) 根尾谷淡墨桜(岐阜)

五大桜・石戸蒲サクラ(埼玉) 狩宿の下馬桜(静岡)

三大夜桜・弘前公園(青森) 上野恩賜公園(東京) 高田公園(新潟) 三大名所・弘前公園(青森) 高遠城址公園(長野) 吉野山(奈良)

「タイタニック沈没100年」

処女航海で冰山と衝突、当時世界最大の豪華客船タイタニックの沈没事故から今年で100年になります。タイタニックは英国白星汽船会社が白星汽船会社のモータニアに大きさを対抗すべく1912年に建造したもので長さ269m、幅28m、総トン数46,329t。同年処女航海でニューヨークに向かう途中の4月14日夜、ニューファウンドランド島沖で冰山に衝突し翌日沈没。1490名(1513名とも)の犠牲者を出しました。タイタニックが進水した北アイルランドのベルファストでは70億ポンド(約9000億円)を投じて、タイタニックを建造した造船所跡地75haを再開発。進水台跡地を公園にし、海辺に集合住宅や商業ビル、ホテル等を建設しています。又4月15日に向け、追悼式典やタイタニックの跡をたどる記念航海等が行われています。

修繕リフォームから新築工事の建物の事
優良土地活用から物件探し等の土地の事

北本建設株式会社

埼玉県北本市古市場3-131

TEL: 048-591-1234

URL: <http://kitaken1970.com>

FAX: 048-591-0019

04

暮らしのカレンダー

卯月、陰月、卯花月、乾月、建巳月、木葉採月、鎮月、夏初月、麦秋、花残月、植月

1日 エイプリルフル
4日 清明
7日 世界保健デー
8日 花祭り・イースター

16日 春土用
20日 穀雨
23日 サンジヨルディの日
29日 昭和の日/天長節